

2025 年度春季シンポジウム「持続可能な社会の実現に向けて」

～求められるごみ処理事業の見直し～

オンライン配信のご案内

廃棄物処理の目的は生活環境の保全と公衆衛生の向上である。そのために焼却施設等を整備してきたが、資源循環や脱炭素が重要なテーマになって、物質回収型のリサイクルが増えてきた。紙やプラごみ等の分別収集や選別などに多くのごみ処理従事者が必要となり、日本のごみ排出量は2000年以降減少しているにもかかわらず、ごみ処理従事者は増加している。一方、可燃ごみが減少するために焼却施設の稼働率は低下し、リサイクルの為の選別などの施設も増えごみ処理単価も増加している。自治体の担当者は「リサイクル貧乏」と呼んでいる。そこで求められるのが「ごみ処理事業の見直し」である。ごみ処理における人手不足や高額化にならない、「持続可能な効率的なごみ収集・運搬と処理処分」を目指したごみ処理事業の見直しが必要である。シンポジウムでは、廃棄物処理事業の見直しの重要性を指摘し、高付加価値をもたらす持続可能なごみ処理事業について考えてみたい。

1. 開催日時：2025（令和7）年6月27日（金）14：00～17：00

開催当日の視聴が出来ない方は、オン・デマンドサービスにて7月1日以降7月末まで何時でも何回でも視聴可能です。

2. 開催方法：無観客開催、オンライン中継配信

※参加には事前登録が必要です。参加者は視聴と資料の事前ダウンロードが出来ます。

3. 定員：300名（配信拠点数制限で、定員になり次第締め切らせていただきます。）

4. 事前登録申込締切：6月25日（水）

5. 主催：(株)廃棄物工学研究所

6. 後援：環境省（申請中）

7. 協賛：(公財)廃棄物・3R研究財団、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団、(一社)環境衛生施設維持管理業協会

8. 協力：(一財)日本環境衛生センター、(公社)全国産業資源循環連合会、(公財)日本産業廃棄物処理振興センター、(一社)プラスチック循環利用協会、(一社)日本環境衛生施設工業会、(一社)廃棄物資源循環学会、(公社)全国都市清掃会議、(一社)日本産業機械工業会、(一社)持続可能社会推進コンサルタント協会、(一社)廃棄物処理施設技術管理協会、ごみ焼却余熱有効利用促進市町村等連絡協議会、有害・医療廃棄物研究会、産業廃棄物処理業経営塾OB会、フォーラム環境塾・NPO法人都市環境フォーラム

9. 事前登録費：上記協賛協力団体の会員：6,600円、非会員：13,200円、自治体職員：4,400円、学生：2,200円（消費税を含む）

10. プログラム

時 間	講 演 内 容	講 演 者
14:00～14:05	オープニング・スピーチ：企画の背景	(株)廃棄物工学研究所代表 田中勝
14:05～14:45 40分	基調講演：一般廃棄物適正処理促進のための重点施策について（仮題）	環境省 環境再生 資源循環局 廃棄物適正処理推進課 課長 松崎裕司 氏
14:45～15:15 30分	地方行政解説：プラ製品の一括回収に対応した中間処理施設における発火対策及び橋処理センターにおける高効率発電と排ガス規制に関する取組	川崎市 環境局 施設部 施設建設課 課長 志田羊平 氏
15:15～15:25	休憩	
15:25～15:55 30分	技術解説：北欧の廃棄物処理における資源循環・脱炭素への対応～実態調査報告（2）	(一社)日本環境衛生施設工業会技術委員会 副委員長 松本和正 氏
15:55～16:35 40分	特別講演：ごみ処理事業の見直しによる「持続可能なごみ処理」を考える	室蘭工業大学 准教授 吉田英樹 氏
16:35～17:00 25分	クロージング・リマーク：ERよりMR？それGEの弊害？	(株)廃棄物工学研究所代表 岡山大学名誉教授 田中勝

事前登録のお申し込みは、申込用紙にご記入の上、メール添付にて
運営事務局[info@riswme.co.jp]まで送りください。

お問合せ先：運営事務局 (株)廃棄物工学研究所(担当：石井) Tel/Fax 086-239-5303

※事前登録の申込用紙は、(株)廃棄物工学研究所ホームページ(<http://www.riswme.co.jp>)からダウンロードいただけます。